

●学校の部屋

お問い合わせは教育委員会 ☎ 64・4343



▲全力で疾走する児童たち

12月6日(木) 名森小学校全校児童(532人)が、持久走記録会を実施しました。
11月中旬から、朝の活動や体育の時間を利用して持久走記録会に向けた取り組みを行ってきました。低・中・高学年それぞれの体力に合わせたコースを中須川沿いに設定し、毎年12月に開催しています。
当日は、たくさん保護者や地域の方々の応援を受け、児童たちは精一杯自分の力を出し切りました。
走り終えた児童たちは、「走りきった」という達成感が満ちあふれた表情をしていました。

全力を出して走った持久走記録会
名森小学校



▲参加者が力を合わせて餅つきする様子

12月15日(土) 牧小学校で、雨天の中、多少手狭な感はありましたが、児童玄関付近にガスコンロや臼を並べて「餅つき大会」を行いました。同校保護者有志からなるおやじの会と長寿会の皆さん、そして学校職員が協力して進めました。今回で5回目ということもあり、自然に仕事を分担し、手際よく、あずき餅、きな粉餅や鏡餅づくりを進めました。児童は餅つきにはおぼつたりして、楽しく、おいしい時間を過ごしました。鏡餅は、参加者以外に、普段、牧小学校の教育を支援してくださっている企業や関係者の方々にもお届けしました。

親子で餅つき大会
牧小学校



▲真剣に話を聞く児童たち

1月8日(火) 結小学校体育館で、始業式が行われました。
校長先生の話を聞いた後、4人の児童が「3学期がんばること」を発表しました。よい姿勢や授業での発表など、自分たちが頑張りたいこと、仲間同士が信じ合い学級を高めていきたいこと、計画委員として、「お(おだ)口ゼ口掃除)、す(進んであいさつ)、ぶ(ふわふわ言葉)」をさらに全校に広め、結の伝統として胸をはって卒業していきなさいことなどを話しました。
次に生徒指導主事から「3学期、大切にしたいあたりまえのこと」として「あいさつ」、「ルールを守ること」、「仲間を大切にすること」について具体的な事例や言葉を入れた話を聞きました。
どの児童も真剣に聞き、卒業式や進級を見据え、気を引き締めて、3学期のスタートをきることができました。

「3学期のスタートにあたって」
結小学校



▲心地よい緊張感の中、書き初めに取り組む生徒たち

1月8日(火) 登龍中学校全校生徒が、第3学期始業式の午後、全校一斉に「競書会」を行いました。
当日は、宮城道雄氏の「春の海」がBGMとして流れる中、冬休み中に練習した成果や新しい年を迎えた意気込みが現れるよう、一字一字に心を込めて書きました。それぞれの教室には心地よい緊張感が漂い、新年の始まりにふさわしい会として、登龍中学校では大切にしています。
書き上げた作品は、しばらくの間教室に掲示し、お互いの良さを広めていきます。

練習の成果を發揮して
登龍中学校